



ユニキャスト リバース パス転送の設定

- [ユニキャスト リバース パス転送の設定 \(1 ページ\)](#)
- [IPv6 ユニキャスト リバース パス転送の設定 \(1 ページ\)](#)

ユニキャスト リバース パス転送の設定

ユニキャスト リバース パス転送 (ユニキャスト RPF) 機能は、検証可能な送信元 IP アドレスが不足している IP パケットを廃棄することで、間違っまたは偽造 (スプーフィングされた) 送信元 IP アドレスがネットワークに流れて発生する問題を軽減するのに役立ちます。たとえば、Smurf や Tribal Flood Network (TFN) など、多くの一般的なタイプの DoS 攻撃は、偽造された、または次々に変わる送信元 IP アドレスを使用して、攻撃を突き止めたりフィルタすることを攻撃者が阻止できるようにします。パブリックアクセスを提供するインターネットサービスプロバイダー (ISP) の場合、uRPF が IP ルーティング テーブルと整合性の取れた有効な送信元アドレスを持つパケットだけを転送することによって、そのような攻撃をそらします。この処理により、ISP のネットワーク、その顧客、および残りのインターネットが保護されます。



(注) • ユニキャスト RPF は、でサポートされています。

IP uRPF 設定の詳細については、『Cisco IOS Security Configuration Guide』の「Other Security Features」の章を参照してください。

IPv6 ユニキャスト リバース パス転送の設定

ユニキャスト リバース パス転送 (ユニキャスト RPF) 機能は、検証可能な送信元 IP アドレスが不足している IP パケットを廃棄することで、間違っまたは偽造 (スプーフィングされた) 送信元 IP アドレスがネットワークに流れて発生する問題を軽減するのに役立ちます。たとえば、Smurf や Tribal Flood Network (TFN) など、多くの一般的なタイプの DoS 攻撃は、偽造された、または次々に変わる送信元 IP アドレスを使用して、攻撃を突き止めたりフィルタすることを攻撃者が阻止できるようにします。パブリックアクセスを提供するインターネットサー

ビспロバイダー（ISP）の場合、uRPF が IP ルーティングテーブルと整合性の取れた有効な送信元アドレスを持つパケットだけを転送することによって、そのような攻撃をそらします。この処理により、ISP のネットワーク、その顧客、および残りのインターネットが保護されます。



-
- (注)
- スイッチが複数のスイッチタイプが混在する混合ハードウェアスタック内にある場合は、ユニキャスト RPF を設定しないでください。
-

IP ユニキャスト RPF 設定の詳細については、『*Cisco IOS Security Configuration Guide, Release 12.4*』の「*Other Security Features*」の章を参照してください。